

教育の方向性

隠岐水産高等学校

過去経験したことのない時代を迎え 新たな指導、学校行事の構築！

我々のホームグラウンドは海

全国 46 校（しかない）水産高校！より高い差別化！

1. 教育環境の再認識！

- ①漁業（航海）、機関、食品、栽培、そして漁業専攻科、機関専攻科を設置し、大型練習船を有する学校は 20 校
- ②隠岐水教育の わくわく感！
神海丸実習：日本最大の練習船による日本一周航海、ハワイ航海
漁業（海洋）実習：全国随一の実習環境。隣接する実習海面で漁業やマリンスポーツ
機関実習：島内唯一の機械・電気・冷凍に関する海洋工学系教育！
食品加工実習：全国一の缶詰生産量
栽培実習：県内唯一の栽培系コース
- ③実験・実習重視の授業時数（総時数の 10 分の 5 以上を配当：学習指導要領）
- ④地域（隠岐の島町）の支援

2. 生徒と教員そして地域がともに成長する開かれた学校（魅力化）

隠岐水産高校の教育そのものが魅力満載！

- ①地元（県内生）の生徒を大切にしつつ、島外生（県外生）を積極的に受け入れ互いに切磋琢磨する全国区の高等学校を目指す！
- ②生徒：入学してよかった！ 成長を実感できる生活（資格・部活・実習）
 保護者：入学させてよかった！ 子どもの成長と安心感 教職員への信頼
 教職員：勤めてよかった！ 指導力向上 生徒からの信頼 成長を支える喜び
 地域：支援してよかった！ 学校の魅力を認識。人材育成、地域経済の活性化

3. 普通（科）ではない高校！

普通を求めている！専門的学習（知識技術）、資格取得をとおして

- ①生徒が自ら意欲的に取り組む学校生活の展開
- ②社会人として必要な資質の育成と基本的生活習慣の確立
- ③望ましい勤労観の育成と進路指導の充実
- ④人権教育、道徳教育の充実

4. プチ目標設定

身につけさせたい力を明確にしつつ、挑戦できる身近な目標を設定

- ①各種国家試験への挑戦
- ②乗船実習 カッター訓練⇒小型船舶⇒大型船舶⇒遠洋航海
- ③製造実習 月間・年間製造目標個数の設定
- ④栽培実習 季節毎の作業目標設定

5. 積極的な情報発信

見える化：学校の目標、学習などの活動実態を具体化し、学校は何を目指しているのか？生徒はどう取り組んでいるか？担当教員だけでなく、全教職員、保護者、卒業生、地域、中学生にも伝えることにより本校教育をより理解していただくよう努める。

- ①保護者・地域・教職員へ学校便り、PTA 便り
- ②科便り、コース便り、クラス通信やHPの充実
- ③行政（隠岐の島町）との連携